

心臓血管外科

● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 荻野 均
 医局長 神谷 健太郎
 病棟医長 小泉 信達
 外来医長 西部 俊哉

医師数 常勤 13名
 非常勤 6名

● 診療科の特徴

当科では、心臓疾患（虚血性心疾患、大動脈弁・僧帽弁狭窄閉鎖不全、慢性血栓塞栓性肺高血圧（CTEPH）、先天性等）、大動脈疾患（急性・慢性大動脈解離、胸部・腹部大動脈瘤等）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、バージャー病、下肢静脈瘤等）と幅広い心臓血管外科領域を網羅し、患者さんに最適と思われる治療を選択し治療しています。

また、複合緊急疾患を有する高齢者や重症患者の集学的医療のため、循環器内科、麻酔科、集中治療部など他科との連携し、密接な協力体制のもとに、最善の治療を提供するべく日夜診療を行っています。

< 診療内容 >

- ①心臓手術；冠動脈バイパス術（人工心肺を用いないOPCAB含む）や弁置換術などの標準的な手術はもちろん、Maze手術、左心室形成術、大動脈弁・僧房弁形成術などの自己弁温存手術（David手術）などの複合手術も行っています。
- ②大血管手術；胸部・胸腹部・腹部大動脈瘤や急性・慢性大動脈解離に対して、人工血管置換術を行っています。
- ③肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）；慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する、国内で数少ない手術可能な医療機関です。
- ④末梢血管手術；閉塞性動脈硬化疾患に対して下肢バイパス術（人工血管や自家静脈グラフト）や血栓内膜摘除術を行っています。
- ⑤低侵襲手術；体に負担の少ない低侵襲手術を目指し、上記の通常手術に加えて、ステントグラフト内挿術（TEVAR・EVAR）、血管内治療（PTA）、小切開開心術（MICS、OPCAB）を積極的に行っています。
- ⑥下肢静脈瘤手術；ラジオ波焼灼術（RFA）を行っています。
- ⑦緊急性の高い急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、急性心筋梗塞、急性動脈閉塞症に対して、CCU、ICU、救命救急センターと協力して緊急手術に対応しています。

● 診療体制と実績

入院患者総数；640（平成28年4月～平成29年3月）
 手術件数；528（平成28年1月～12月）

領域	手術件数
心臓	112
血管	416
合計	528

領域	術式	件数	内訳
心臓		112	
	冠動脈バイパス		42
	弁置換・弁形成		47
	肺動脈血栓内膜摘除（PEA）		11
	その他		11

領域	術式	件数	内訳
血管		416	
胸部	人工血管置換		56
	ステントグラフト（TEVAR）		34
腹部	人工血管置換		11
	ステントグラフト（EVAR）		67
末梢	血行再建		24
	血管内治療（PTA）		70
	その他		30
静脈	静脈瘤		59
	その他		3
HD	プラットアクセス		77